

「チャレンジウィーク（職場体験学習）」

まとめをしています



職場体験が、事故や大きなケガもなく無事終了しました。「あいさつがとてもしっかりできる」「礼儀正しい」「素直である」「子どもたちとのかかわりが積極的である」など、たくさんの事業所から、お褒めの言葉をいただきました。うれしく思うとともに、生徒たちも、改めて、学校生活の中で意識している「利他」や「凡事徹底」など、毎日の生活をしっかり積み重ねていくことが、将来に繋がっていくのだと分かったことと思います。振り返りを見ると、忘れ物をしたことや決められた時間にぎりぎりであったこと、決めつけていて情報を聞き逃してしまったこと、終了報告を忘れてしまったことなどの反省がありました。今回の振り返りを、修学旅行や入試はもちろんのこと、毎日の生活に活かしてほしいと思います。緑学年の良さを大切に、課題を克服し、一人一人がしっかりと力を伸ばしていける集団として、さらに成長してほしいと思います。

今週は、早速お世話になった事業所の方にお礼の手紙を書きました。国語の授業とも関連して、「拝啓」の頭語と時候の挨拶から始まる手紙を、縦書きの便せんに書きました。このような正式な手紙を書くのは、初めてという生徒も多く、これも新鮮な体験で、緊張して仕上げていました。この後、各自の体験をスライドにまとめて発表し合う予定です。作成においては、情報モラルについて、長谷川先生から話をいただきました。一人一人の具体的な体験内容や学んだことを知るのが今から楽しみです。

◎チャレンジウィーク1日目の「知ってもらおう介護の仕事」についての感想と写真を裏面に載せさせていただきます。

「チャレンジ70」順調ですか？

いよいよ27、28日は、期末テストです。今回は、部活動停止期間が長く、三者面談などもあったため、テスト勉強70時間以上を目指してきました。3年生は、今、毎日の受験勉強とともに、私立高校などの入試に向けて願書提出の手続きをしています。新年早々には、入試がスタートします。みなさんの1年後の姿です。やはり、定期テストの内容をしっかり押さえていくことが、3年生での自信につながります。いろいろなアドバイスをもとに、まずは、やってみることで、自分にあった学習方法が見つかるものと思います。週末は、学習に全力投球！



【来週の予定】※変更もあります。

日	活動内容	完全下校時刻
27(月)	制服登校 期末テスト1日目(国・英・数・体) 簡単清掃	14:00
28(火)	制服登校 期末テスト2日目(理・社・技家・音) 5校時:生徒総会(6校時カット) 部活動再開	16:30
29(水)	水①~⑥	17:30
30(木)	木①~⑥	
1(金)	金①~④+⑤⑥ 人権講演会	17:15

※12月の部活終了時刻は、17:15です。

「知ってもらおう介護の仕事」

チャレンジウィークのスタートとして、特別養護老人ホーム愛老園の方に、介護の仕事について、実技も交えて、さまざまな視点からお話をしていただきました。生徒たちの感想を紹介いたします。

○福祉・介護の仕事は、自分のなかでは、毎日たいへんそうだと思っていましたが、はたらく日を減らしたり、利用者の方たちへのサポートの仕方を工夫したりすると、働く人も利用者の方も毎日楽しく過ごせているのが分かりました。私は、107歳のおばあちゃんの話が一番印象に残りました。高齢だけど、家族や地域の方たちの支えがあってこそ幸せに生きていられるのだと分かり、私も、家族を大切にしていきたいと思いました。

○介護の仕事の説明を受けて、たいへんだけれども、とてもやりがいのある仕事だと思いました。今回のお話を通して、より介護の仕事について理解が深まりました。私は、将来への職業への考えが全くなく、迷いがたくさんですが、介護の仕事も選択肢の一つと考えてもよいかと思いました。

○今回の学習で一番印象に残ったことは、「気持ちが上がれば、体もついてくる」という言葉です。この言葉は、私たちや年配の人など、誰にとっても重要なものだと思います。また、介護の仕事は、つらいことばかりだと思っていましたが、説明を聞いて、その分、やりがいがあるのだと思いました。

○自立のことについて、考えるお話が印象に残りました。僕は何かをするときに、自分一人で解決しようとすることが多いです。しかし、何でも自分ですることが自立ではなく、自分のできないことは、人に頼むなど、人に頼むことも大切だと学びました。

○これまでも、介護福祉士になりたいと思っていましたが、その気持ちが大きくなりました。以前までは、休日が少ないなどマイナスなところが多かったのですが、小暮さんがおっしゃった2時間多く働けば休日が増える、また、いろいろな面でICTが導入されているなど、働き方も改革されてきていることが分かり、よかったです。

○印象に残ったのは、「介護は、考える杖」という言葉です。全てを助けるのではなく、可能性を見極めて接することが大切なの分かりました。高齢の方としっかりお話をして、気持ちを考えて寄り添える介護士さんが素敵だなと思いました。

○介護や福祉の仕事には、興味があったので、とても楽しみにしていました。お話を聞いて、人と関わるからこそたいへんなことがあるのだと思いました。しかし、それ以上に、困っている人や生きがいを無くしてしまった人の力になるというやりがいがあるのだと思いました。今後は、まず、困っている人がいたら積極的に手助けできるようにしたいです。そして、自分のやりがいや生きがいになるものを見つけていきたいです。

